

都市と防災Ⅱ

科目ナンバリング POL-306
選択 2単位

関 英男

1. 授業の概要(ねらい)

この講義では、平常時対応を基本的に取り上げます。防災庁構想、消防、自治体などの先進的防災政策、まちづくり、被災者支援、災害ボランティア、原子力災害、感染症対策、災害と司法などについて、歴史も含めて対象とします。

2. 授業の到達目標

防災行政の基礎知識と勘所を身につけるために、映像も含めて情報を提供します。災害時対応を主に取り上げた「都市と防災Ⅰ」では情報量が過多と反省し、過去の災害の白黒フィルムの解説も含めて、より余裕ある進行にしたいと思っています。

3. 成績評価の方法および基準

3回、各最低2000字の課題提出が必須。出席は毎回取る。筆記試験は行わない。

4. 教科書・参考文献

教科書

使用しない。

参考文献

『防災白書』のサイトを初め、内閣府防災、総務省消防庁、自治体などの防災のサイト。新聞社や、過去の震災などのデータベースサイト。

5. 準備学修の内容

「都市と防災Ⅰ」の知識、行政学、地方自治、近現代日本政治の知識があれば、より理解しやすくなります。

6. その他履修上の注意事項

防災関連のサイト・記事を、頻繁に見るようにしてください。そして、考えてください。

7. 授業内容

- 【第1回】 内閣府防災担当と防災省構想
- 【第2回】 消防
- 【第3回】 国土交通省と気象庁
- 【第4回】 広域応援と広域避難
- 【第5回】 義援金・生活再建支援制度
- 【第6回】 自治体の防災政策に対する国の支援と関与
- 【第7回】 自治体独自の先進的防災政策
- 【第8回】 地方議会・町内会と防災まちづくり
- 【第9回】 集合住宅の防災
- 【第10回】 災害弱者対策
- 【第11回】 災害ボランティア
- 【第12回】 テロ対策、国民保護
- 【第13回】 感染症対策
- 【第14回】 原子力災害
- 【第15回】 災害と司法